

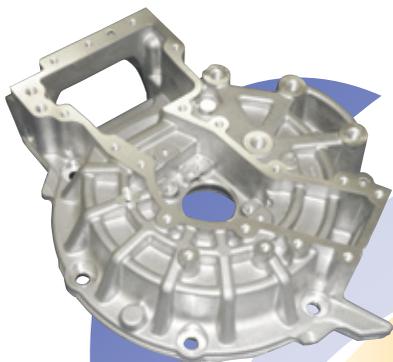
RYOBI

株主のみなさまへ

第100期報告書

2011年4月1日～2012年3月31日

DIE CASTINGS



**PRINTING
EQUIPMENT**



**POWER
TOOLS**



**BUILDERS'
HARDWARE**

あなたの暮らしの中で役立っています

ダイカスト事業

リョービは世界トップクラスのダイカストメーカー。シリンダーブロックやトランスミッションケースなどの自動車部品をはじめ、さまざまな産業分野にダイカスト製品を提供しています。

■主なダイカスト製品

- ・シリンダーブロック、トランスミッションケース、車体フレームなどの自動車・二輪車用部品



ダイカスト製品

印刷機器事業

カタログ、ポスター、雑誌や美術書など、美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機。リョービはデータ入稿から印刷、製本まで、ハード・ソフト両面から印刷をトータルに支えています。

■主な商品

- ・高速オフセット多色印刷機
- ・印刷周辺機器等



B1サイズ高速オフセット多色印刷機「RYOBi 1050シリーズ」

住建機器事業

この事業はパワーツールと建築用品で構成しています。

パワーツール

本格的な住まいづくりからホビーまで、世界中のプロ・アマチュアに愛用されているリョービの電動工具。美しい庭づくりのための園芸用機器など、リョービは多彩なパワーツールで、「創造するよろこび」をお手伝いしています。

■主な商品

- ・ドリル、丸ノコ、グラインダ、芝刈機、刈払機、高圧洗浄機、クリーナなど



ジスクグラインダ「G-110P」

建築用品

ドアを静かに確実に閉めるドアクローザ。ホテルなどの室温を快適に調節する空調制御システム。リョービは安全で快適な住まいやオフィスを実現する建築用品を提供しています。

■主な商品

- ・ドアクローザ
- ・ヒンジ
- ・建築金物等



ドアクローザ「GEOPRO GD-4V」

当期（2012年3月期）を振り返るとともに、今後の事業戦略などについて、浦上社長に聞きました。

Q

社長就任から1年が経過しました。感想を聞かせてください。

A 私は昨年の6月に社長に就任しました。前職で印刷機器の国内販売子会社の社長を務めていましたが、業務執行の範囲がリョービグループ全体となり、責任が大きくなりましたので、気を引き締めています。1年が経過し、今まで会長、前副会長が取り組んできた方針や施策が改めて正しかったと実感しています。今後もその経営方針を続けていく考えです。その中でも、企業理念はリョービの信念であり、一番大切にしていかなければならないと考えています。

Q

当期を振り返り、業績について聞かせてください。

A 昨年は東日本大震災、タイの洪水、欧州金融危機、円高など厳しい経営環境が続きました。東日本大震災では、幸い直接的な被害は免れましたが、お客様である自動車メーカーの生産量減少に



代表取締役社長 浦上 彰

対応して生産調整を行いました。その後、サプライチェーンが急速に復旧し、増産に転じた際は、当社工場の勤務形態を変更して取り組むなど、社員をはじめ関係者の協力によりお客様の需要に応えることができました。当社の強みのひとつである、機動力

を発揮することができた年であったと思います。

当連結会計年度（2012年3月期）の業績については、こうした機動的な対応も寄与して、売上高は1,656億38百万円（前連結会計年度比2.4%増加）となりました。一方、利益面は経費の増加などの影響により、営業利益は77億15百万円（同6.9%減少）、経常利益は69億50百万円（同6.6%減少）、当期純利益は41億79百万円（同9.0%減少）となりました。事業別の業績については、7ページから9ページに記載しておりますのでご覧ください。

Q

今後の事業別の戦略について説明してください。

A まずダイカスト事業については、グローバルにお得意先の要望にお応えしており、海外生産能力の増強が一番のポイントと考えています。急速に拡大する日米欧の自動車メーカーのアジア進出に対応するため、中国の大連と常州にある子会社では、工場拡張や新工場の建設を進めています。またタイの子会社でも工場の建設を進めています。海外でも国内と同水準の品質を維持し、かつ価格面で現地需要に対応できるように生産性を上げることが一番の課題と考えています。

印刷機器事業は、長期的な紙離れから市場の縮小が進んでいます。こうした中、パッケージ関連の印刷やデジタル印刷など、従来以上に幅広い用途にお使いいただける印刷機の開発に取り組みます。また、市場ニーズへの対応を早めるために、今年の4月に国内販売子会社を吸収合併しました。一方で、収益力を向上するために人員の配置転換など、構造的なコスト削減も進めています。

住建機器事業は、パワーツールと建築用品で構成しています。パワーツールでは、従来の電動工具を強化しながら、加えて園芸用機器や高圧洗浄機など周辺の商品の開発も強化し、消費者の期待を超える商品を提供していきます。建築用品では、ドアクローザの国内での更なるシェアアップと、バリアフリーに使われる引戸クローザの拡販を進めていきます。また、海外での販売強化にも努めていきます。



Q

リョービの企業理念について説明してください。

A 最初に申しあげたとおり、企業理念はリョービの信念であり、一番大切だと考えます。

リョービの企業理念は「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」です。細かく説明しますと、ここでいう「技術」とは、リョービの製品・サービスを生み出す原動力であり、当社の存在意義の中核になります。「信頼」とは、すべてのステークホルダーとの信頼を大切にすることで、経営姿勢の基本となります。「挑戦」は、常に新しい目標に向かって積極果敢に挑戦する社員の行動指針です。これらにより、リョービは「健全で活力にみちた企業」という、あるべき姿をめざします。そのためには環境保全、社会貢献活動、コンプライアンスなどCSR活動への取り組みや、コーポレートガバナンスの確立といった、社会的責任を果たすことがより重要と認識しています。先に申し上げた事業戦略や経営計画も、この企業理念の土台の上に達成されると考えています。



Q

最後に株主還元の考え方と株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 今後も収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた配当を継続していきたいと考えています。当期（第100期）の期末配当金につきましては、先の定時株主総会でご承認いただきましたとおり、1株当たり6円といたします。

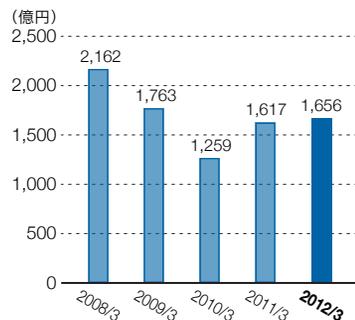
次期の配当につきましては、1株当たりの年間配当金6円を予定しており、中間配当で3円、期末配当で3円を予定しています。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

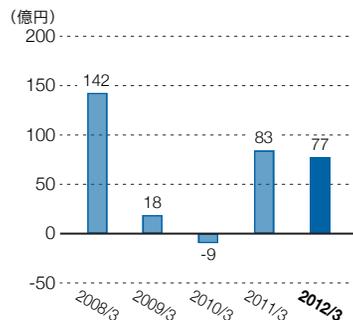
2012年6月

連結決算の要点解説

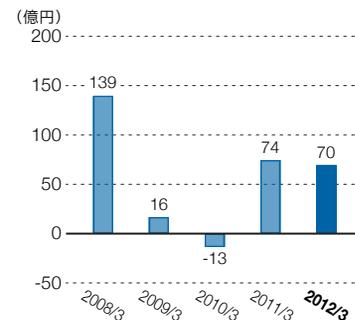
■ 売上高



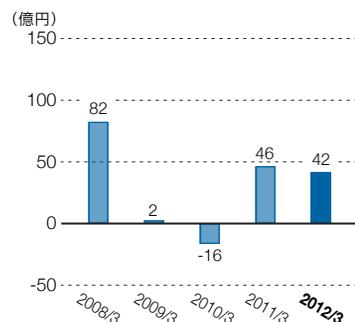
■ 営業利益



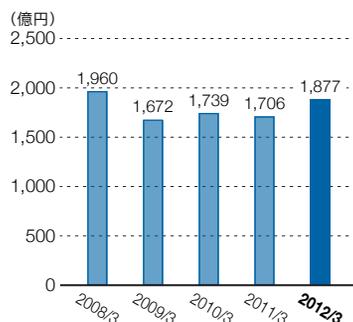
■ 経常利益



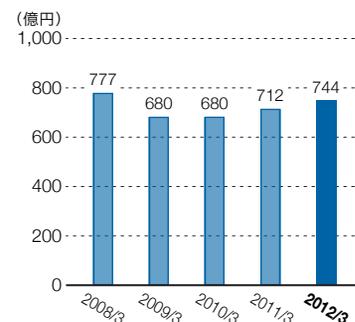
■ 当期純利益



■ 総資産



■ 純資産



業績推移

科目	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3 (見通し)
売上高 (百万円)	216,180	176,340	125,940	161,730	165,638	175,000
営業利益 (百万円)	14,235	1,804	△ 925	8,285	7,715	7,300
経常利益 (百万円)	13,876	1,570	△ 1,312	7,438	6,950	6,300
当期純利益 (百万円)	8,207	160	△ 1,601	4,594	4,179	4,000
1株当たり当期純利益 (円)	49.07	0.97	△ 9.90	28.40	25.84	24.73
総資産 (百万円)	195,971	167,198	173,916	170,577	187,694	—
純資産 (百万円)	77,718	68,006	67,995	71,217	74,350	—
1株当たり純資産 (円)	460.79	415.25	414.86	434.18	453.03	—

△は損失

売上高・利益の状況

当連結会計年度（2012年3月期）のわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況の中、上半期は、サプライチェーンの復旧に伴い生産活動の回復が進み、輸出や個人消費などにも持ち直しの動きが広がり、回復基調で推移しました。しかし、下半期は、欧州の債務危機、円高の進行・長期化、タイの洪水の影響などを受け、また、厳しい雇用情勢やデフレの影響などもあり、景気は足踏み状態となりました。

資産・負債・純資産の状況

当連結会計年度末（2012年3月末）の総資産は、前連結会計年度末に比べ171億17百万円増加し、1,876億94百万円となりました。増加は主に現金及び預金41億45百万円、売上債権51億71百万円、たな卸資産35億81百万円、有形固定資産77億46百万円等の増加によるものです。その一方で、減少は有価証券31億17百万円等がありました。

負債は、前連結会計年度末に比べ139億83百万円増加し、1,133億44百万円となりました。増加は主に仕入債務40億69百万円、長・短期借入金91億4百万円等の増加によるものです。一方、減少は未払法人税等12億55百万円

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動とユーザーニーズをとらえた新商品の開発を進めるとともに、原価低減や生産性向上、業務の効率化など諸施策を実行しました。

その結果、当連結会計年度の業績は、前連結会計年度に比べると増収となりましたが、経費の増加などの影響で減益となりました。

等がありました。受取手形割引高及びリース債務を除いた有利子負債残高は、575億6百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ31億33百万円増加し、743億50百万円となりました。増加は主に利益剰余金32億9百万円によるものです。一方、減少は為替換算調整勘定2億85百万円等がありました。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ30億47百万円増加し、732億75百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.2ポイント低下し、39.0%となりました。

次期（2013年3月期）の見通し

今後のわが国経済は、東日本大震災からの復興を追い風に、景気の回復が期待されます。世界経済についても、米国の緩やかな景気回復や中国の内需拡大などが見込まれることから、持ち直しの動きが続くものと思われます。しかし一方で、欧州債務危機の深刻化、原油・原材料価格の高騰、為替・金利の変動などのリスクがあり、また、電力供給の制約やデフレの影響、雇用情勢の悪化などの懸念が残っています。

このような情勢のもと、現時点における次期（2013年3月期）の連結業績は、増収減益となる見通しです。ダイカスト

事業は、中国や北米市場での堅調な受注に加えて、エコカー補助金復活の効果などにより国内市場向けが増加することから増収となるものの、固定費等の増加により利益は減少する見込みです。印刷機器事業は依然として厳しい市場環境が続いていますが、売上高の増加と収益性の改善により、黒字化をめざします。住建機器事業は概ね堅調に推移していますが、販売競争の激化によって厳しさを増していることから、売上高は横ばいながら収益性は低下する見込みです。

ダイカスト事業

■ 当期の業績

売上高は1,233億60百万円（前連結会計年度比4.4%増加）、営業利益は60億79百万円（同16.6%減少）となり、前連結会計年度に比べて増収、減益となりました。

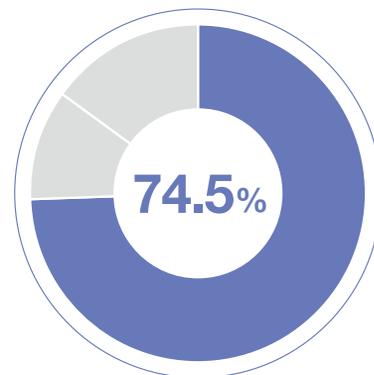
北米や中国など海外での受注量の増加により増収となったものの、固定費等の増加や海外生産品の品質不良の影響などにより利益率が低下し、減益となりました。

「東京モーターショー2011」に出展

2011年12月2日から11日までの10日間、東京ビッグサイトで「第42回東京モーターショー2011」が開催されました。

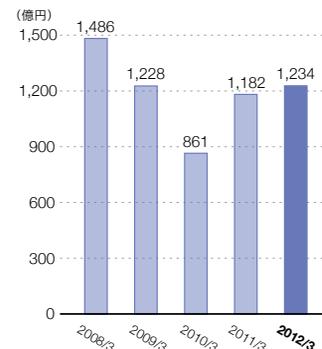
当社は「GLOBAL NETWORK & NEXT GENERATION」をコンセプトに、世界で展開する営業・生産拠点の紹介、電気自動車やハイブリッド自動車向けの技術や製品などを紹介しました。また、乗用車、トラック、オートバイの軽量化に貢献する多様なダイカスト製品を展示しました。

モーターショーへの来場者数は約84万人と大変盛況で、当社ブースへも連日多くのお客様が来場されました。

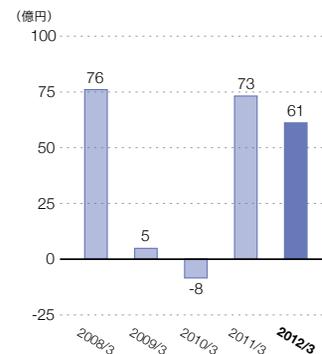


売上高構成比

売上高



営業利益



印刷機器事業

■ 当期の業績

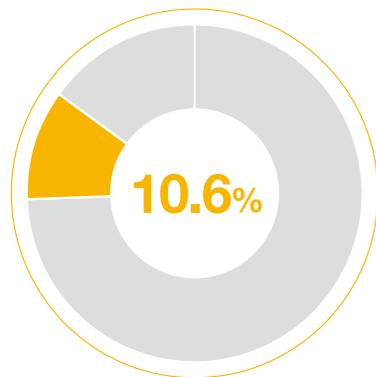
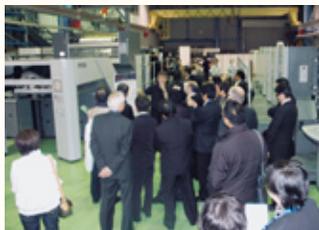
売上高は175億32百万円（前連結会計年度比10.9%減少）、営業損失は7億10百万円（前連結会計年度は9億36万円の損失）で、前連結会計年度に比べて減収でしたが、損失は縮小しました。

急激な円高の影響や、印刷業界の不振が続く先進国での設備投資意欲の減退、新興国での金融引き締めの影響などから、欧米・アジア向けの輸出が低調であったため売上高は減少しました。損失は原価低減や経費削減の効果などにより減少しました。

「ブレドルッパ展」を開催

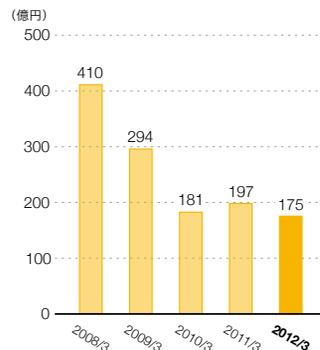
広島県府中市にある当社の広島東工場で、2012年2月2日から3日まで「ブレドルッパ展」と称して、国内、海外のお客様を招待して展示会を行いました。

ハイパワータイプの新型LED-UV印刷システムを搭載した新商品のB2サイズ高速オフセット印刷機「RYOBI 755G（ニスコーティングユニット付）」で、エンボス調印刷の実演を行いました。また、印刷物の両面を瞬時に乾燥させる生産性の高い「RYOBI 928P（用紙反転装置/LED-UV印刷システム搭載）」や、偽造抑制を目的としたスポットホログラム模様の加工ができる「RYOBI 1050-1（UVキャストリング・フォイリングシステム付）」を紹介し、当社の技術力をアピールしました。

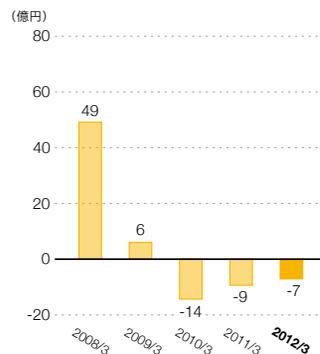


売上高構成比

売上高



営業利益



住建機器事業

■ 当期の業績

売上高は247億44百万円（前連結会計年度比3.7%増加）、営業利益は23億46百万円（同21.6%増加）となり、前連結会計年度に比べて増収、増益となりました。

厳しい販売競争が続いているものの、震災後の復興需要や、住宅建設や個人消費などに持ち直しの動きが続いたことから、主に国内販売が増加し、原価低減や経費削減の効果などもあり増益となりました。

2商品がグッドデザイン賞を受賞

電気のかぎり「ASK-1000」と防じんスチールカッタ「SC-520」が、2011年度グッドデザイン賞を受賞しました。

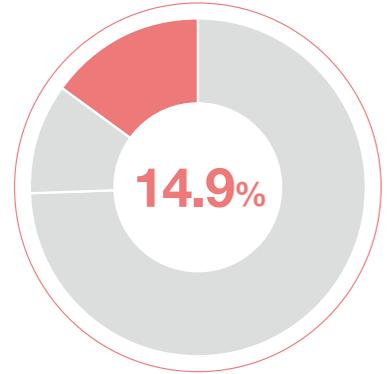
「ASK-1000」は、安全で手軽に素早く作業ができるようにデザインされていると高く評価されました。また「SC-520」も吟味されたスタイリングであると高く評価されました。



電気のかぎり
「ASK-1000」



防じんスチールカッタ
「SC-520」

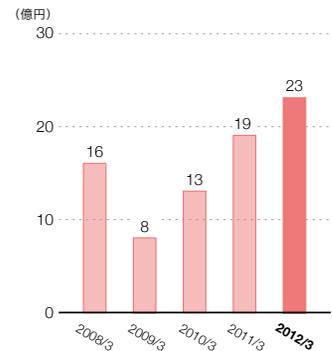


売上高構成比

売上高



営業利益



利優比压铸（常州）有限公司の工場が完成

中国におけるダイカスト事業の第2拠点として、2010年11月に江蘇省常州市の武進高新技术産業開発区に設立した利優比压铸（常州）有限公司の工場が、2012年4月に完成しました。土地面積は80,000㎡、建物面積は38,000㎡で、量産開始は2012年8月を予定しています。



タイにダイカスト工場を建設

2011年5月にタイに設立したRYOBI DIE CASTING (THAILAND) CO., LTD.のダイカスト製造工場を、ラヨン県のアマタシティ工業区へ建設しています。同工業区はバンコクから南東へ車で約2時間の高台にあり、工場の土地面積は77,000㎡、建物面積は19,000㎡で、完成予定は2012年末です。量産開始は2013年6月を予定しています。



NPO法人リョービ社会貢献基金の活動

リョービ社会貢献基金は、社会貢献活動の一環として、リョービグループの拠点がある地域のボランティア団体や社会福祉施設に対して、活動資金の助成や物品の寄贈を行っています。

2011年度の活動では、ボランティア13団体に対して計99万円を活動資金として助成し、10カ所の社会福祉協議会等へ車イス、骨健康測定器、防災用品など総額約240万円の物品を寄贈しました。



物品贈呈式

連結財務諸表

貸借対照表 (2012年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部

科目	当期	前期
流動資産	99,029	89,610
現金及び預金	18,694	14,548
受取手形及び売掛金	39,404	34,232
有価証券	5,894	9,012
たな卸資産	30,723	27,142
繰延税金資産	1,289	1,194
その他	3,065	3,518
貸倒引当金	△ 42	△ 37
固定資産	88,665	80,966
有形固定資産	75,669	67,923
建物及び構築物	17,951	18,474
機械装置及び運搬具	21,629	21,190
土地	21,697	21,628
リース資産	346	528
建設仮勘定	11,287	3,330
その他	2,757	2,771
無形固定資産	1,642	992
投資その他の資産	11,353	12,050
投資有価証券	8,147	8,358
繰延税金資産	1,452	1,338
その他	1,806	2,429
貸倒引当金	△ 53	△ 76
資産合計	187,694	170,577

負債の部

科目	当期	前期
流動負債	81,994	76,480
支払手形及び買掛金	32,427	28,357
短期借入金	28,541	25,404
1年内返済予定の長期借入金	6,806	10,118
リース債務	206	245
未払法人税等	909	2,165
賞与引当金	1,605	1,613
役員賞与引当金	32	20
その他	11,463	8,555
固定負債	31,349	22,879
長期借入金	22,158	12,878
リース債務	164	326
繰延税金負債	155	171
再評価に係る繰延税金負債	630	674
退職給付引当金	6,105	6,633
持分法適用に伴う負債	411	409
その他	1,723	1,785
負債合計	113,344	99,360

純資産の部

株主資本	82,672	79,463
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	42,810	39,601
自己株式	△ 2,360	△ 2,360
その他の包括利益累計額	△ 9,396	△ 9,235
その他有価証券評価差額金	1,969	1,871
繰延ヘッジ損益	△ 36	△ 32
土地再評価差額金	655	626
為替換算調整勘定	△ 11,985	△ 11,700
少数株主持分	1,075	989
純資産合計	74,350	71,217
負債純資産合計	187,694	170,577

・財務諸表ワンポイント解説・

建設仮勘定

建設仮勘定とは建設中の建物や据付中の機械など、完成前の設備への支出等を仮に計上しておくための勘定科目です。建設や据付が完了し事業の用に供した時点で「建物及び構築物」や「機械装置及び運搬具」などの本勘定へ振り替えられます。当期は中国を中心とした海外での設備投資を積極的に行ったため、建設仮勘定が前期より79億57百万円増加しております。

損益計算書 (2011年4月1日から
2012年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	165,638	161,730
売上原価	135,938	132,728
売上総利益	29,699	29,001
販売費及び一般管理費	21,984	20,716
営業利益	7,715	8,285
営業外収益	1,074	1,176
営業外費用	1,839	2,022
支払利息	1,020	1,094
その他	819	927
経常利益	6,950	7,438
特別利益	34	216
固定資産処分益	31	191
その他	2	24
特別損失	484	349
固定資産処分損	112	280
投資有価証券評価損	172	40
その他	198	29
税金等調整前当期純利益	6,500	7,305
法人税等	2,253	2,588
少数株主利益	68	123
当期純利益	4,179	4,594

キャッシュ・フロー計算書 (2011年4月1日から
2012年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,929	17,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,334	△ 7,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,329	△ 11,736
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	△ 159
現金及び現金同等物の増減額	1,027	△ 1,834
現金及び現金同等物の期首残高	21,485	23,319
現金及び現金同等物の期末残高	22,513	21,485

・財務諸表ワンポイント解説・
キャッシュ・フローと有利子負債

投資活動によるキャッシュ・フローが183億34百万円の支出となり、前期に比べ109億28百万円の増加となりました。この資金需要をまかなうために、当期末の有利子負債は575億6百万円と前期末に比べて91億4百万円増加しています。

株主資本等変動計算書 (2011年4月1日から2012年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	18,472	23,750	39,601	△ 2,360	79,463	1,871	△ 32	626	△ 11,700	△ 9,235	989	71,217
当期中の変動額												
剰余金の配当			△ 970		△ 970							△ 970
当期純利益			4,179		4,179							4,179
自己株式の取得				△ 0	△ 0							△ 0
株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額)						98	△ 3	28	△ 285	△ 161	86	△ 75
当期中の変動額合計	-	-	3,209	△ 0	3,208	98	△ 3	28	△ 285	△ 161	86	3,133
当期末残高	18,472	23,750	42,810	△ 2,360	82,672	1,969	△ 36	655	△ 11,985	△ 9,396	1,075	74,350

株式の概要

- 発行可能株式総数 500,000 千株
- 発行済株式の総数 171,230 千株
- 自己株式保有数 9,484 千株
- 株主数 10,420 名
- 株式の上場 東京証券取引所

■ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	16,445	10.16
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.74
第一生命保険株式会社	8,067	4.98
日本生命保険相互会社	7,823	4.83
菱工会社株会	7,303	4.51
財団法人浦上奨学会	5,530	3.41
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,218	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,981	2.46
ノーザン トラスト カンパニー エイ ブイエフシー リー ノーザン トラスト ガンジー アイリツシュ クライアンツ	3,700	2.28
住友信託銀行株式会社	3,503	2.16

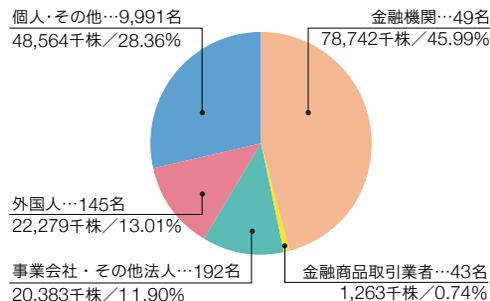
(注) 当社は、自己株式9,484千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 配当金 (1株当たり)

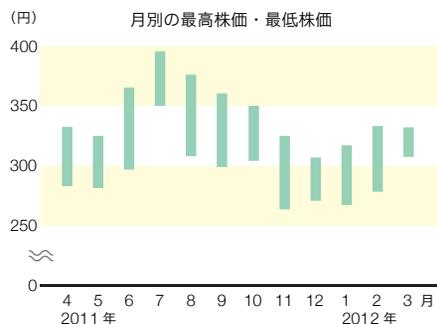
	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
中間配当金	6円	—	—	—	3円(予想)
期末配当金	—	—	6円	6円	3円(予想)
年間配当金	6円	—	6円	6円	6円(予想)

■ 株式分布状況

<所有者別> 合計 10,420 名 / 171,230 千株



■ 株価及び株式売買高の推移



会社の概要

社名	リョービ株式会社
英文社名	RYOBI LIMITED
創立年月日	1943年12月16日
資本金	184億72百万円
社員数	1,981名
主要商品	ダイカスト製品 印刷機器（オフセット印刷機、印刷周辺機器等） パワーツール（電動工具、園芸用機器等） 建築用品（ドアクロージ、ヒンジ、建築金物等）

事業拠点

本社	〒726-8628 広島県府中市目崎町762 ☎ (0847) 41-1111
東京支社	〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8 ☎ (03) 3927-5541
虎ノ門オフィス	〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-1 虎ノ門セントラルビル ☎ (03) 3927-5541
大阪支店	〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 ☎ (072) 685-1124
営業所	札幌・仙台・浜松・名古屋・富山・広島・福岡
広島工場	〒726-8628 広島県府中市目崎町762 ☎ (0847) 41-1111
広島東工場	〒726-0002 広島県府中市鶴飼町800-2 ☎ (0847) 40-1600
静岡工場	〒421-3292 静岡県静岡市清水区蒲原5215-1 ☎ (054) 385-3101
印刷機器工場	〒726-0023 広島県府中市栗柄町444-1 ☎ (0847) 45-5871

主なグループ会社

(2012年4月1日現在)

■ ダイカスト事業

リョービミラサカ株式会社
リョービミツギ株式会社
株式会社東京軽合金製作所
生野株式会社
RYOBI DIE CASTING(USA),INC.
RDCM, S. DE R.L. DE C.V.
RYOBI ALUMINIUM CASTING (UK), LIMITED
利優比压铸(大連)有限公司
利優比压铸(常州)有限公司
RYOBI DIE CASTING (THAILAND) CO., LTD.

■ 住建機器事業

リョービ販売株式会社
リョービパワーツール株式会社
利優比(大連) 机器有限公司

役員

(2012年6月22日 現在)

取締役

代表取締役	浦上 浩
代表取締役	浦上 彰
取締役	横山 隆志
取締役	鈴木健二郎
取締役 (社外)	大岡 哲
取締役 (社外)	加藤 大朗
取締役	川口 裕幸

監査役

常勤監査役	小林 照三
監査役 (社外)	齋藤 正樹
監査役 (社外)	山本 裕二
監査役 (社外)	荒井 洋一

執行役員

会 長	浦上 浩
社 長	浦上 彰
常務執行役員	横山 隆志
執行役員	鈴木健二郎
執行役員	川口 裕幸
執行役員	伊東 邦侑
執行役員	堂本 秀樹
執行役員	鈴木 隆
執行役員	滝 埜 義 巳
執行役員	栢 野 隆 史

「くらしごこち」がテーマです。



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主
確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主
確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel. 0120-094-777 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 5851
- 公告の方法 電子公告「<http://www.ryobi-group.co.jp/>」

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承りますので、お手続きが必要な際は口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左の連絡先または全国の三菱UFJ信託銀行本支店にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

RYOBI リョービ株式会社

本 社 〒726-8628 広島県府中市目崎町 762
Tel. (0847) 41-1111

東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島 5-2-8
Tel. (03) 3927-5541

<http://www.ryobi-group.co.jp/>

この報告書はリョービの印刷機で印刷しています。
無断複製・転載等を禁止します。